

## 来賓挨拶Ⅱ

### 東京都 都市整備局 局長 邊見 隆士氏

ご紹介いただきました東京都都市整備局長の邊見でございます。一言ご挨拶を申し上げます。本日は全国エリアマネジメントネットワーク設立シンポジウムにお招きをいただきまして、誠にありがとうございます。

まずはエリアマネジメントの普及に関するこれまでの皆様のご尽力により、このような全国組織という形のネットワークに結実しましたことにお慶び申し上げたいと思います。

また、設立準備委員会の皆様をはじめ、関係者の皆様に心から敬意を表したいと思えます。エリアマネジメントに関する情報共有・政策提言・普及啓発など、このネットワークが今後果たしていく役割は、非常に大きいものと期待をさせていただいているところでございます。

さて、昨今は大手町・丸の内・有楽町地区をはじめといたしまして、新虎通りですとか竹芝地域など、国家戦略特区等における市街地再開発や道路占用と連動しまして、周辺地区と一体的に推進するエリアマネジメントが都内各地で展開されるようになってきてございます。

先ほど栗田局長もおっしゃっておられましたが、このような官民の垣根を超えた取り組みがまちの魅力を高め、国際競争力のある東京を作っていくことは間違いのないところでございます。

これまで東京都では、「東京のしゃれた街並みづくり推進条例」のもと、まちの景観づくり、公開空地の活用に関する規制緩和などを通じまして、民間の皆様の自主的な活動を後押しして参りました。

また、先ほど保井先生もいらっしゃいましたけれども、現在 2040 年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について、東京都都市計画審議会において議論をして頂いているところでございます。

5月にございました中間のまとめでは、地域コミュニティと連携した民間主体が、民有空間と公共空間を隔てることなく自律的に管理・運営できる BID 等の新たなエリアマネジメントの仕組みづくりの重要性についてもご提言をいただいております。

私ども東京都といたしましては、このような議論や皆様のご意見を踏まえまして、各地で芽を出しつつあるエリアマネジメントを官民一体となって大きく育てていきたいと考えてございます。

最後になりますが、全国エリアマネジメントネットワークの今後のご発展を祈念いたしましてごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。